

2025 年 10 月 5 日

合併のお知らせ

一般社団法人日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会（JCIC）は、一般社団法人サイバー犯罪捜査・調査ナレッジフォーラム（CIKF）を 2025 年 10 月 5 日（日）付けで吸収合併いたしました。

CIKF が編さんした『サイバー犯罪捜査・調査知識体系』（CIBOK）の著作権は JCIC が引き継ぎ、第 2 版が JCIC のウェブサイト上のリンクから無料で閲覧可能となります。また、CIKF 代表理事の清水智氏は JCIC 理事兼研究員に、CIKF 理事の西野弘氏は JCIC 上席研究員兼 CIBOK 編集主幹、同じく理事の二宮英樹氏及び国府新氏は JCIC 研究員として JCIC に参画し、引き続き CIBOK に関する研究を行います。

梶浦敏範 JCIC 代表理事のコメント

2017 年に JCIC が発足した時には、サイバーセキュリティを中心とした議論・提言をするシンクタンクとして、産業界の経営層に着目した活動をするのが主目標でした。その活動を続けて 8 年経ち、大手企業はじめ産業界の認識は深まってきましたが、社会を覆うサイバー脅威も非常に大きくなりました。企業の事業継続を脅かし、情報を窃取する攻撃が深化しただけでなく、国際犯罪組織や国家をバックにした攻撃者も増えてきました。JCIC では昨年から安全保障の専門家も研究員に加え、より広範なテーマに取り組んでおります。またこれらの脅威に対応する観点から、産業界と治安機関の連携にも着目しています。

そこでこの度、この分野の研究を行い、知識体系である「CIBOK」を編さんした一般社団法人サイバー犯罪捜査・調査ナレッジフォーラム（CIKF）との合併を行うことといたしました。「CIBOK」は元来捜査機関向けの知識体系ですが、企業としても捜査機関が何を考え、どう行動するかを知ることが重要で、サイバー犯罪捜査で官民が円滑に連携するためには必要なドキュメントです。JCIC は「CIBOK」を継承し、同書の主要編集メンバーも JCIC で引き続き研究を行うこととなります。今回の合併により、産業界と治安機関の、より密接かつスムーズな連携を促進する態勢が強化されると考えております。これからも、急迫するサイバー脅威から企業や社会を護るための、一層深い調査・研究をしてまいります。

以上